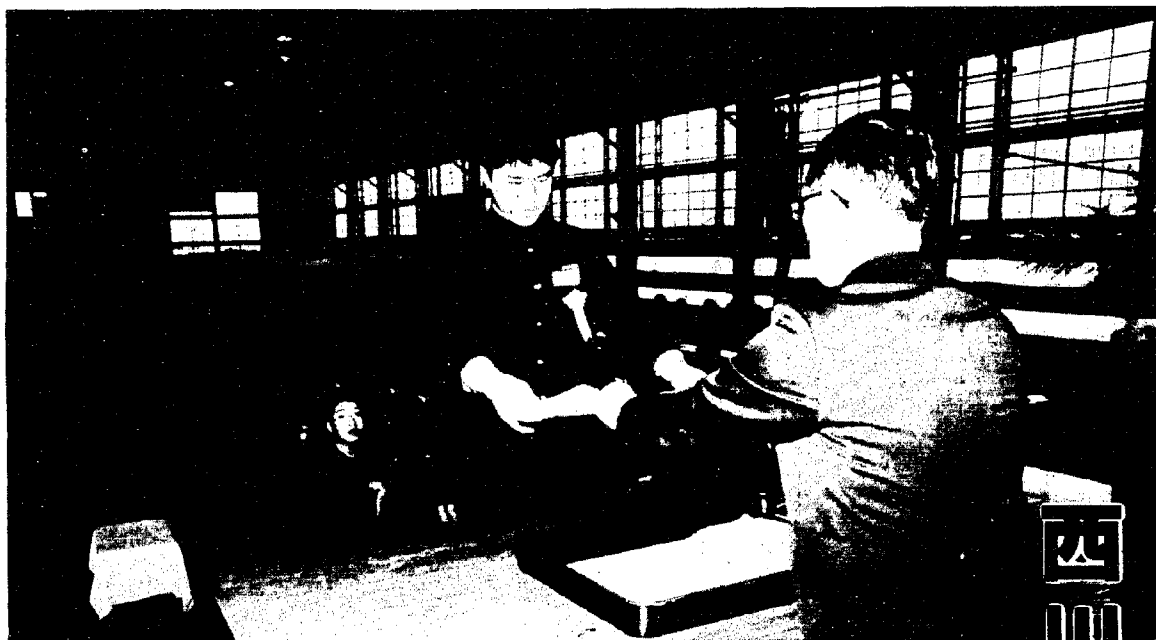


□ 発行/新潟県西蒲原郡西川町役場

□ 編集/総務課

□ 毎月10日・25日発行



西川中卒業式

晴れの門出の日、三月十五日、西川中学校(本間泰校長)で卒業式が行われ、住みなれた母校から卒業生たちは巣立って行きました。

今年、西川中学校を卒業したのは、男子七十五人、女子五十七人の計百三十二人でした。

式は厳粛の内に行われ、卒業生への卒業証書授与のあと、本間校長から、卒業生へ、「今日まで育ててくださったお父さんやお母さんに感謝するともに、これからも生活で、学校で、社会で、常に感謝を忘れないでください。そして、健康づくりに励み、我が校の教育目標にあるように、健康で知性の高い自主的で実践力のある人になってください。」これから、どの学校を出たからではなく、何ができるかです。私はこれだけは誰れにも負けない、というものをもってください。三、これからの長い人生、何ごとにも希望をもって生きてください。」と激励の言葉が贈られました。

式曲終了後、卒業生たちは、校長先生はじめ担任の先生方と握手をし、涙を流しながら別れを惜しんでいました。



保健委員制度10歳を迎え

功労者として29名を表彰した

昭和四十六年十二月に発足した当町の保健委員制度は、今年で十周年を迎え、この記念大会を三月七日西川町福祉会館で行いました。

第一部では、健康づくり調理と保健委員功労者を表彰・成人病予防のパネルを展示・保健委員による健康づくりについての調理実習を行い、研修の成果をみせました。

・表彰式では、町長あいさつ、来賓祝辞について次の方々を表彰し感謝状と記念品を贈りました。

西川町長表彰

特別功労者(順不同)

天笠堂 大滝ミツ 見帯石川 千代
矢島 源 戸チヨ 善光寺 高橋 玄恵
一番町 山ミツ子 新川 池田 ツル

四番町 清水キチ 三ツ屋 山本チヨエ
大正通 前山タケ子 大関 種村タミ
六分 齊田セヨ 貝柄 田村ミツヲ
八百板 キクエ

九番町 二村 ミツイ 六分 多賀フミ
藤見町 真島 ハナ 見帯中村 シゲ
朝日町 石田 修子 渡辺 富
旗屋 遠藤 ヨシノ 新川 椎谷 八重
浦村 佐崎 ヨシ子 野田村キミ

表彰のあと表彰者を代表して山本チヨエさんから町長に対しお礼の言葉があり今後とも地域保健の向上に努めますと謝辞が述べられ最後に大滝ミツさんの保健委員を代表して大会にふさわしい貴重な体験発表がありました。



▲保健委員を代表して大滝ミツさんの体験発表



▲収入役から表彰を受ける功労者



▲永井先生による講演



▲記念大会に参加した、今までに保健委員になられた方たち

・正午に昼食会を開き、保健委員同経験者等をはじめ参加者一同は昼食をともにし、なごやかに交歓をしました。

第二部では、健康づくりの特別講演

新潟県医師会理事の永井達吉先生から「これからの健康づくり」について講演を聞き、県が提唱している「健康新潟クローバー運動」を基調としての高齢化社会におけるこれからの健康づくりについて学び、ユーモアをまじえての講演でした。参加者一同は有意義な時をすごしました。



消防設備の取組訓練は随分と

毎日が防火デーです ほくの家

家庭の防火

毎年この時期は空気が異常に乾燥し、いわゆる春一番という突風が吹く日が多くなり、またちよつとした気のゆるみから火災が発生し、大火になる恐れがあります。

また最近の火災の傾向として、特に憂慮しなければならぬことは、火災による死者(特に身体不自由者、老人、幼児等)が増加していることです。町民の一人一人が注意をして町から火災をださないようにしましょう。

○たばこの投げ捨てと寝たばこはやめましょう。

○たばこによる火災は、非常に多く発生しています。たばこの投げ捨てをやめるとともに、寝たばこもやめましょう。特に、酒に酔っているときは注意してください。

○ストーブの上に洗濯物を干すの

は絶対にやめましょう。ストーブの上に洗濯物を干すことは非常に危険です。現にこの町においても、この種の火災が発生しています。

○おでかけ前とやすみ前の火の元の点検は?

外出中の火災は、発見が遅れるために大火になりやすく、また就寝中の火災は、死傷者を伴うおそれがあります。外出する時や、寝る前には必ず火の元の安全確認をしましょう。

春季消防演習

春の消防演習を次のとおり実施いたしますので、町民各位のご協力をお願いします。

- ・期日 四月四日(日曜日)
- ・場所 福祉会館
- ・時間 午前七時に警鐘を点打、十一時四十五分頃各ポンプ車は、福祉会館脇の用水で一斉放水を行います。

救急車を

正しく利用しましょう

最近、救急車の利用が増加傾向にあります。救急車を安易に利用したり、逆に利用の時期を失い、大事に至ったと言ふ事例も見られますので、次のことに注意してください。

▼救急車を利用できるのは、

火災、労災、自然災害、交通事故、ガス中毒、熱傷、急病などによる傷病者で、緊急に搬送する必要がある場合。

▼緊急の場合は次の要領で正しく通報しましょう。

電話(一一九番)が通じたら、次のことを簡潔明確に落着いて知らせよう。

- ①所在・目標。
- ②どんな事故か。
- ③傷病者の数、性別、年齢。
- ④傷病者はいま、どんな容体、状況か。
- ▼救急車が到着するまでに、次のことをしよう。

- ①かかりつけの医師への連絡。
- ②応急手当。
- ③保険証の準備。
- ④救急車を案内するため道路に出る。
- ▼救急車が到着したら、次のことを話そう。
- ①救急車が到着するまでの傷病者の容体。
- ②傷病者に実施した応急手当の内容。
- ③持病があれば病名、かかりつけの病院または連絡のとれた病院名。

消防本部



▲119番の連絡を受け、現場へ急ぐ救急員

国民年金の加入届はお済みですか



国民年金は、農業や漁業・商業など自営業やサービス業を営む人と、その家族の将来にわたる生活の安定保障を第一の目的としている制度です。

したがって、これらの人のうち、日本国内に住所を有する二十歳から五十九歳までの人で、厚生年金保険や各種共済組合などの公的年金に加入していない人は、外国人の方も含めて必ず加入しなければなりません。

国民年金に加入すると、加入者の老後の所得保障はもれ論のこと、不慮の事故等で、障害者や母子世帯になった時には、それぞれ障害

年金や母子年金が支給され、生活の安定がはかられます。また、以前、会社や職場の年金に加入したことがある人の場合には、以前の年金の加入期間とその後国民年金の加入期間とが合算され、将来、両方の制度から老齢年金が支給されます。

しかし、国民年金に加入しなければならぬのに加入の手続きを怠って保険料を納めないでいたりすると、老齢になった時や不慮の事故にあつた時など、年金を受けられないことになりかねません。

このようなことのないよう、今すぐ加入の手続きをして、将来に備えましょう。詳しくは、役場住民課国民年金係におたずねください。

ねんきん

3月中旬に……

六十歳になる人(大正十一年三月二日〜大正十一年四月一日生まれ)は、保険料を納め終わりました。

老齢年金は、原則として六十五歳から請求することになりますが、六十歳以上で希望すれば年齢を繰り上げて請求できます。この場合、年金額が希望する年齢によって次

の表のとおり減額されます。

希望する年齢	減額率
60歳以上61歳未満	0.42
61歳 ♪ 62歳 ♪	0.35
62歳 ♪ 63歳 ♪	0.28
63歳 ♪ 64歳 ♪	0.20
64歳 ♪ 65歳 ♪	0.11

減額率

子どもを

水から守りましょう

子どもは水が大好きです。水もぬるみ、暖かさも増してきますと子供も水に親しむ季節です。しかし水魔は常に手をのびていますから、子どもを水の事故から防ぐように充分気をつけましょう。

ほんのちよっと目を離したばかりに

幼児の水死事故は痛ましいものはありません。つい先ほどまで元気に走り回っていたのに、ほんのちよっと目を離したばかりに変わり果てた姿になってしまふ。事故の現場で可愛い我が子、あるいは孫の遺体にとりすがって泣きまじぶ姿を見るとき、どうしようもない気持ちにかられます。こうなる前に、家族はもちろんの



こと、地域の人にもお互いに注意し合ひましょう。幼児の監護を怠らないようになりましょう。

家庭周辺の危険箇所を点検し、事故防止に対処しましょう。水死事故に対する関心を高めましょう。

西川町青少年育成町民会議
西川町公民館

町民親善レクリエーション大会は六月六日(日)打ち合わせ会結果

第十二回町民親善レクリエーション大会の打ち合わせ会を、三月

住所が変わったら14日以内に手続きを!

進学や就職、そして転勤などで住所が変わったら十四日以内に手続きをしてくだい。

皆さんの届け出により住民基本台帳(住民票)が作成され、これに基づいて、選挙人名簿の登録、国民健康保険、国民年金、就学など各種行政の事務処理が行っております。

○転入届
よその市町村からこの町に住所を移されたときは、次の書類をもって転入届の手続きをしてくだい。

○転出届
この町からよその市町村へ住所を移される時は、次の書類をも

進学や就職、そして転勤などで住所が変わったら十四日以内に手続きをしてくだい。

皆さんの届け出により住民基本台帳(住民票)が作成され、これに基づいて、選挙人名簿の登録、国民健康保険、国民年金、就学など各種行政の事務処理が行っております。

○転入届
よその市町村からこの町に住所を移されたときは、次の書類をもって転入届の手続きをしてくだい。

○転出届
この町からよその市町村へ住所を移される時は、次の書類をも



▲お気軽におたずねください。

- ① 前住所地の市町村から交付をうけた転出証明書
 - ② 印鑑(ミトメ)
 - ③ 国民健康保険証(国民健康保険に加入している世帯に加入される方)
 - ④ 国民年金手帳(国民年金に加入している方)
- 転入届
この町からよその市町村へ住所を移される時は、次の書類をも

- 書類をもって世帯変更届の手続きをしてくだい。
- 世帯変更届とは、次のような場合です。
- ① 印鑑(ミトメ)
 - ② 国民健康保険証(国民健康保険に加入している方)
 - ③ 国民年金手帳(国民年金に加入している方)
 - ④ 印鑑登録証(印鑑登録をされている方)
- 転居届
- 転入届
よその市町村からこの町に住所を移されたときは、次の書類をもって転入届の手続きをしてくだい。
- 転出届
この町からよその市町村へ住所を移される時は、次の書類をもって転出届の手続きをしてくだい。
- 町内間で住所を移されたときは、次の書類をもって転居届の手続きをしてくだい。
- 印鑑(ミトメ)
- 印鑑登録証(印鑑登録をされている方)
- 国民健康保険証(国民健康保険に加入している方)
- 国民年金手帳(国民年金に加入している方)
- 世帯変更届
世帯主が変わったり、世帯の構成が変わったりしたときは、次の書類をもって世帯変更届の手続きをしてくだい。
- 会社や工場などをやめたとき
会社や工場などに勤めたとときは、次の書類をもって、早めに手続きをしてくだい。
- ① 印鑑(ミトメ)
- ② 離職証明書(前の勤め先から交付をうけたもの)
- ③ 年金手帳
- ※あなたの住所が変わっても届け出をしないと役場からの連絡が届かないため、不利益なことがありますので、早めに手続きをしてくだい。
- 住民課

十日公民館で開きました。各種目ごとに町内部落の代表者の方と入念な話し合いが行われ、次のとおり実施することになりました。

記

一、日時 六月六日(雨天の場合十三日)

二、場所 西川中学校グラウンド

三、選手名簿提出期日 四月二十日まで公民館へ

※今年も全町内部落の参加をお願いいたします。



町営テニスコート 3月25日オープン

町営テニスコートを三月二十五日からオープンしました。このテニスコートは町民の方などでも利用できますが、コートが「全天候型テニスコート」という特殊な材質によって造られており、利用のしかたを正しく知

らないでコートを使うとすぐにコートが傷んでテニスができなくなってしまうため、利用登録者による申込み許可制をとっております。この手続きは簡単ですが、テニスコートをはじめ利用される方は公民館に来て登録手続きをして「町営テニスコート利用者登録カード」の交付を受けて下さい。五十六年度に登録している方は登録カードを提示して許可ワッペンをもらって、それを胸につけてコートを利用してください。

なお、テニスコートの利用方法等についてはお問い合わせは西川町公民館(電話二三三四番)にお願ひします。

第五回 町民バドミントン大会開催

春の町民バドミントン大会を、次のとおり開催しますので多数参加してください。

記

日時 四月十八日(日)

午前八時三十分開始

会場 西川竹園高校第一体育館

主催 西川町公民館

主管 西川町体育協会

西川町バドミントンクラブ

(競技要項)

種目 団体戦

試合方法 クラス別による予選リーグ戦、決勝トーナメント戦(参加チーム数により変更もあります)

試合順序 ダブルス、ダブルス、シングルス、順

チーム編成 一チーム五人以上とし、男女の別は問いません。

参加資格 西川町民又は西川町に通勤通学をしている人

表彰 入賞チームに賞状と楯を贈ります。

参加費 一チーム一、〇〇〇円(保険料とシャツ料代等)

(参加申込み)

所定の申込書により、参加費を添えて、西川町公民館に四月十三日(火)までに申し込んでください。

(練習日)

毎週、次の場所で練習ができます。運動のできる服装で、バドミントンラケットと屋内運動靴を持っておいでください。

木曜日 竹園高校第二体育館

土曜日 曾根小学校体育館

(午後七時〜午後九時)

照会先

西川町公民館

電話 二七三二番

電話 二二三四番

自動車税など

県税の

納入方法について

県税につきまして、日頃からご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、今まで納税貯蓄組合(農協組合員)にあっては農協)を通じて一括納税をしていただいた方の自動車税等県税の納税方法を昭和五十七年度から次のとおり改めましたのでお知らせいたします。

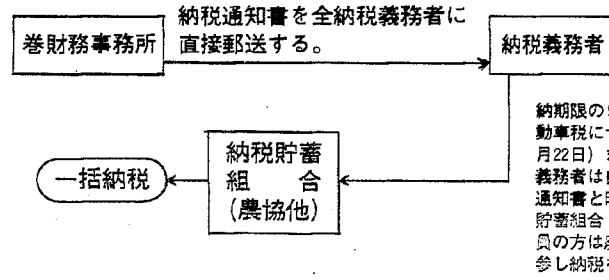
一、改めた納税方法
左図のとおり

二、他の留意点
イ、納期限を超過してから納めますと延滞金がかかることもありますから納期限内に納めてください。

ロ、自動車税の領収証書といっしょになっている納税証明書は車検時に必要ですから大切に保管しておいてください。

ハ、廃車したときは必ず「抹消登録」の手続きをしてください。この手続きがなされない翌年もその車に税金がかかります。

ニ、自動車税を他人に売ったときは買い主に「移転登録」の手続きをとってもらうてください。この手続きがなされない翌年も貴方にその車の税金がかかります。



納税通知書を全納税義務者に直接郵送する。

納税義務者

納期限は9月1日(日)の前日(8月31日)までです。納税通知書は、納税貯蓄組(農協)の職員が、納税者の自宅に郵送します。

納税貯蓄組(農協他)

一括納税

お確かめください 固定資産課税台帳

昭和五十七年度の固定資産課税台帳の縦覧が左記のとおり行われます。

この期間に、あなたの土地や建物が正しく固定資産課税台帳に登録されているかどうかを確かめてください。

○縦覧期間と場所
期間 四月九日から四月二十八日

場所 西川町役場税務課窓口

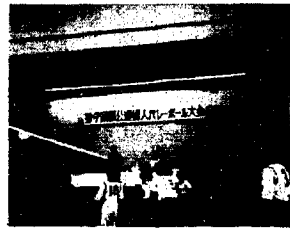
(日曜・祭日を除く) 八時三十分から五時(土曜日は十二時まで)

○審査の申し出
登録事項に不服のある場合は、五月八日までに文書で固定資産評価審査委員会に審査の申し出ができます。

なお、この期間を過ぎますと不服申し立てができませんのでご注意ください。

準々決勝で惜しくも敗れる

第九回西蒲原郡公民館 婦人バレーボール親善大会



郡内の婦人の健康保持増進をいっそう推進し、明るく家庭生活を営むことを目的とした大会が七日、黒崎町総合体育館で開かれ、十三チームが参加して行われました。

西川チームは、一回戦月瀬村を二対一で破り、準々決勝に進みましたが弥彦村に二対〇(1615-1411)で惜しくも敗れました。次回ももっと練習をし、チーム

婦人バレーボール 部員募集
毎週土曜日午後七時～九時まで黒崎小学校体育館において練習をやっていますので多数参加をお願いします。申込先西川町公民館へ。

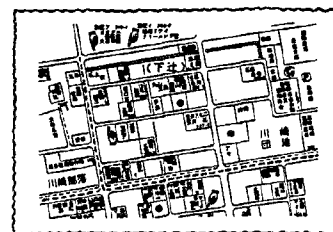
川崎部落が二つに分かれます

川崎では、四月一日から、部落が二つに分かれることになりました。

川崎神社前の道路から東西に分かれ、

西は川崎部落
東は川崎部落
世帯三十四
世帯四十二
世帯四十二
世帯なりま

川崎部落の道路から東西に分かれ、



精神薄弱者を相薄開談者 精神薄弱者移動相談会を次により開催します。

精神薄弱者移動相談会を次により開催します。

当日は、新潟精神薄弱者相談所相談員及び福祉事務所の係が相談に応じますので、生活相談(施設入所等を含め)等で相談なさりたい方はお気軽においでください。

記

一、月日 四月二十二日(月)
二、時間 午後一時
三、会場 いこいの家西川荘

四、対象者
①在宅の精神薄弱者(年齢十八歳以上の者)
②病院、施設等に入院している者及び当日相談されたい方

五、その他
①療育手帳を受けている方は持参して下さい。
②原則として本人と保護者から来てもらい、診断し、相談します。本人が来られない場合は、詳しく説明できる方が来てください。

住民課福祉係

「完全参加と平等」

精神薄弱者に光を

西川町手をつなぐ 親の会々長 織田島 孫衛

国際連合では、一九八一年を国際障害者年と定め、障害をもつ人びとの「完全参加と平等」のもとに長期行動計画(一〇年間)を策定しました。わが国においても、国際障害者年を策定し、諸じよの施設が講じられていますが、国連の提起した理念にはほど遠く、ともすれば身体障害者該當年と誤ってみら

スポーツ推進員 研修会終わる

昭和五十七年のスポーツ推進員研修会が去る二月二十八日(日)福祉会館において行われました。

今回は、県教育庁下越教育事務所から佐藤博司先生を講師に招き、「スポーツ推進員の役割とみんなのスポーツ」についての講演を聞きまし。

健康で明るい町づくり、見るスポーツからやる

新しい会員(手をつなぐ親の会)に私達十五年の歴史を引き継いでもらい、国際障害者年の今後十年の行動計画に私達の願いの実現を訴えます。

昭和三十五年精神薄弱者福祉法が昭和四十五年に心身障害者対策基本法が成立しました。しかしこの福祉法、基本法が完全に実施されて初めて「完全参加と平等」が実現されるのではなからうかと思えます。アドバラン的な国際障害者年の意識ではなく、地域社会に

スポーツに住民のスポーツ欲求がたかまってきている今日においては、部落・町内などからなる地域スポーツ活動のとりくみに「スポーツ推進員」の皆さんがますます重要になっていくことを研修いたしました。

今年も部落・町内から選ばれたスポーツ推進員の皆さんから公民館や体育協会との連絡員にもなっていました。町民の皆様からも協力をお願いいたします。



原動機付自転車の事故防止



最近、若年者や女性を中心にミニ・バイクを初めとして原動機付自転車が大量に変なブームです。運転操作が比較的簡単なことと運転免許が取りやすいことから、保有台数や運転免許取得者が増加しています。

ところが、こうしたブームとともに増えているのが交通事故です。原動機付自転車は、四輪車と違って全身が外部にさらされていますので、ひとたび事故を起こすと、取り返しのつかない事態を招くことが多いのです。操作が簡単だからと、なかには自転車などの安易な気持ちで運転している方もありますが、きわめて危険です。

原動機付自転車を利用しているみなさん、事故を起こさないように、また事故に遭わないように。



完全参加と平等

昭和三十五年精神薄弱者福祉法が昭和四十五年に心身障害者対策基本法が成立しました。しかしこの福祉法、基本法が完全に実施されて初めて「完全参加と平等」が実現されるのではなからうかと思えます。アドバラン的な国際障害者年の意識ではなく、地域社会に

ひろば

「検痰のすすめ」

ある文からの感想
天竺堂
大滝 鯉喜弥



ひろば ひろば ひろば ひろば ひろば ひろば ひろば ひろば ひろば

二月の中旬のある日、ある用件で押付の下村先生をお尋ねした時のこと、先生から「文芸春秋の三月号にでている肺ガンの文章お読みになったか」と聞かれ「いや、まだ読んでいませんが。何か？」「肺ガンの悲惨さに読んでいます」

うちに気持ちが悪くなって……」こんな話をして、帰宅し、私も文春をとっている、その夜、床の中に入ってから読んでみた。筆者は「中島みち子」という評論家で、表題は「悔いてやまず肺ガンで逝った夫、高橋照明」である。夫の肺ガンの病状と医療状況、早期発見による死の回避をなし得なかった悔恨が、切せつと述べられている。筆者自身十一年前に、乳ガンに冒され命拾いをした。それについて、筆者は次のように述べている。「小さな真珠のようなしこりを乳房に見つけた時、国立G病院に飛んで行って検診を受けた。乳ガンといえはこの人と言われるような医長の触診の結果、繊維腺腫というもので、なんでもないものだとならぬ。無罪放免となった。だが、たまたま家庭医学の本に良性とはいえず、悪いものに変わらぬうちに切り除いておいたほうが良いと書いてあったので、軽い気持ちでP病院へ行つてS助教授に摘出してもらった。組織検査の結果、乳ガンとわかり、直ちに根治手術を受けたが、既にガンはまわり、リンパ節に入り始めていた。国立G病院で何でもないと言われたから僅か数日の後のことである。」

このようなことから、ガンについては人一倍神経過敏になった筆者は、ガンには早期発見が如何に大事であるかを本に書き、健康な人びとに、医療従事者に、訴えてきた。その筆者が手遅れのために、ついに夫を肺ガンで失ったのである。

「手遅れ」といってもただの手遅れではなく、夫の咳に早くから疑いを持ち、そのことを話すところの僕がガンにかかるはずが無い……と妻の言葉に全く耳を貸さなかったこと、また医師たちに幾度も「主人は肺ガンではないか？」と不安を告げながらも、その疑いを否定されると、それ以上はつい遠慮してしまつて突つ込めなかったことなどの経過はたどっているのである。

結局、筆者は夫の高橋氏を肺門部の扁平上皮ガンで失っているのであるが、このガンはX線検査では発見し難いが気管支鏡で一番見つけやすい場所であり、早くから咳・痰などの自覚症状があるという。

筆者は次のように後悔しているのである。「私が今、悔いるのはあれほどタバコを好きな人間を相手に、やれ本数を減らせの、やれ検診に行こうとの繰り返して争っている間に、何故黙って私が彼の痰を採取して「肺ガンをくすくす会」にでも送らなかつたのか。何回か痰を送つていればガン細胞は発見されたであろうに。」

西川町では、年数回検痰を実施している。私もその対象の一人である。役場から検痰の収容器が届くごとに、正直言つて、また来たかと思つた。今、「悔いてやまず」を読み、「検痰」が肺ガンの早期発見に如何に欠かせないものであるかを知つた。そして、町の「検痰」に感謝しこそすれ、煩わしいなどとはとんでもないことだと恥かしく思った。

「検痰」の必要性には年齢の上下はないけれども、特に四十代、五十代の人たちからは積極的にこのことに参加して、早期発見することによって、まだまだ前途ある人生を肺ガンからまもつて欲しいものだと思ふや切である。

広報係から
広報にしかわ「ひろば」欄の投稿をお願いいたします。思つていること、のぞんでいることなど、住民の皆さんのコミュニケーションの場としていただきたいと思ひます。投稿は、原稿用紙六百字程。紙面の都合でまとめたさせていただきます。ことあります。

広報係 三三二一・内線一七番

善意を ありがとう

善光寺和田正光さんから、母よせさんが亡くなられた際の香典返しとして、二万円のご寄付の申し出をいただきました。

また、一区細員和子さんから同級会で福祉のためにと慈善募金を行ない、集った二万円をご寄付していただきました。

温かいご寄付に感謝申し上げ、町の福祉活動に有効に使用させていただきます。

ありがとうございます。

西川町社会福祉協議会

剣士会々員募集

剣士会では、毎週水曜日午後七時から西川中学校体育館で剣道の稽古を行なっています。

このたび、昭和五十七年度の会費を募集いたしますので、剣道を習つてみたい方は、家の人と相談して申し込んでください。

申込場所 五番町 大島利道
申込者は、五番町大島又は公民館に置きます。

会費 年額五千円(申込時に納入する)

対象者 小・中学生
申込期限 四月三日まで

感動の名作 「典子は、今」

観る人に人間の偉大さと、生きる喜びと、勇気を与える感動の名作、「典子は、今」の映画鑑賞会を左記のとおり開催いたします。

ご家族お揃いで観ていただけたら一層意味深い感動をうけるものと思われまふ。

皆様多数の観覧をお願いいたします。

映画 「典子は、今」
映写会
とき 三月二十八日
ところ 福祉会館

議会情報

月日	事項
三月一日	町部区長懇談会(議長出席)
四日	全員協議会(議員全員出席)
五日	議会運営委員会(議長・込山・高橋(後)・海藤・二村・遠藤・岡田各議員出席)
六日	県立西川竹園高等学校 入場料 大人前売券八〇〇円 当日 一、〇〇〇円 高校生前売券六〇〇円 当日 八〇〇円 中学生前売券五〇〇円 当日 七〇〇円 小学生前売券四〇〇円 当日 六〇〇円

前売券は九番町二村二さん(電話二〇二七)ほか身体障害者の会の役員で発売していますので、お早めに求めてください。

主催 西川町身体障害者福祉協議会
後援 西川町社会福祉協議会

内科	外科
4(B) 西川 遠藤 医院	4(B) 吉田 県立吉田病院
11(B) 巻 古寺 医院	11(B) 巻 竹前 医院
18(B) 西川 和田 医院	18(B) 吉田 県立吉田病院
25(B) 巻 高木 医院	25(B) 巻 町立巻病院
29(祭) 巻 金子 医院	29(祭) 巻 桑原 医院

四月の心配ごと相談
とき 毎週月曜日 午後一時から午後三時まで
ところ 老人いこいの家
※相談は、秘密・無料です。お気軽においでください。

プラネタリウム 投映のお知らせ

卒業証書授与式・同校体育館(議長出席)
総務常任委員会(岡田・波辺・本間・伊・傳川・高橋(後)・山口・田村・遠藤各議員出席)

日時 四月十日
午後七時三十分から
場所 福祉会館(児童室)
・春の空
・北斗七星のはなし
夜八時すぎになると北斗七星も空高くなるよ、よく見えるよになつてきました。北斗七星のビシヤクの柄のはしから二番目の星をミザールといい、ミザールにくつついたようにアルゴルという星が輝いています。さがしてみてください。

西川町公民館

テレホンサービス4月分予定表

日	曜	テーマ	日	曜	テーマ
1	木		17	土	家具の買い方選び方
2	金		18	(日)	
3	土	冬物衣料のしまい方	19	月	
4	(日)		20	火	
5	月		21	水	石油製品の価格動向
6	火		22	木	
7	水	消費生活相談事例	23	金	
8	木		24	土	プリーツスカートの試着テスト結果から
9	金		25	(日)	
10	土	お酒の表示について	26	月	
11	(日)		27	火	
12	月		28	水	県内消費生活センターにおける相談傾向から
13	火		29	(木)	
14	水	消費生活相談事例	30	金	
15	木				
16	金				

緊急な消費生活情報は、予定を変更して提供することになりますので、あらかじめ御承知ください。また、情報は正午に切り換えます。

新潟県消費生活センターでは、暮らしに役立つ消費者情報「ハイ」を毎月発行しています。

電話番号 (〇二五三) 六七七〇〇〇

あいさつをしましょう

「おはよう」から1日がはじまります。

こんにちは…、どうしたえ…、いい天気らのし…、ごくらーのし…、あいえ…、さようなら…、

こんばんわ…、おやすみなさい…、

となり近所、家族同志

みんなであいさつをしま

しょう。

西川町青少年

育成町民会議

西川町公民館



岸井 勇雄先生 講演会開催

大家です。
多数の参加をお待ち
しております。

○とき 四月四日(日)

午後一時三十分～三時
○ところ 福祉会館二階大広間

○演題

「心を育てる…子供

の成長のために」

講師

県立新潟女子短期大学教授

岸井 勇雄先生

西川町役場保健衛生課

西川町公民館

* 3、4月の衛生行事 *

月日(曜)	種目	対象	場所	時間	備考
26日 (金)	乳児産婦健康相談	①S57年1月生まれと母親 ②前回未受診者	福祉会館	午前9.30～11.00	母子手帳持参
	乳児検診	①S56年4月、5月、10月、11月生まれ ②前回未受診者	〃	午後1.00～2.10	母子手帳持参
4月1日(木)	三種混合予防接種第二回目	①S54年7月1日～S55年6月30日生まれ ②前回未完了者	〃	受付時間 1.00～2.10	通知はがき(問診票) 母子手帳持参
2日(金)	婦人検診	全町希望者	〃	午前9.30～10.30 午後1.00～1.30	
4日(日)	昭和57年度保健委員研修会	①昭和57年度保健委員 ②過去保健委員経験者	〃	午前9.00～午後3.30	
7日(水)	胃部検診	全町希望者	升潟農協	午前8.30～10.00	
8日(木)	胃部検診	全町希望者	分館	午前8.30～10.00	
9日(金)	胃部検診	全町希望者	福祉会館	午前8.30～10.00	
	ポリオ生ワクチン投与	①S56.1.1～S56.12.31 ②前回未完了者	〃	受付時間 1.00～2.10	投与前30分位は、飲食させないでください。問診票、母子手帳持参
10日(土)	胃部検診	全町希望者	〃	午前8.30～10.00	



町民のうごき



氏名 生年月日 保護者 部署

遠藤 純 雅人 押付
小甲 祐介 尚人 六分
山本 みどり 順一 天竺堂
長谷川 学 司郎 鱈3



氏名 世帯主 部署

(斎藤) 住雄 幸田 輝平
倉部 浩 幸田 輝平
(後藤) 祐子 倉部 慶司
(土屋) 善 安達 俊雄
安達 みゆき 鱈1



氏名 世帯主 部署

石川 直太郎 七番町
青柳 長平 本人 旗屋
高橋 清 本人 平野
内藤 フジ 本人 一番町
田中 信一郎 忠信 上組
大瀧 千代吉 84% 實六分